

事務事業評価シート(平成22年度)

(ソフト事業)

(A面)

1 事務事業の概要 <Plan①>				担当課		課長名		記入者			
事務事業名				教育総務 課		原 寛		徳平みゆき			
図書館運営事業				新規・継続		事業開始年度		完了予定年度			
				新規 ○ 継続		15 年度 H20以前		年度 ○ 未定			
事務事業の体系											
計画 掲載	多可町総合計画			(章) 2 笑顔でつむ、あったかいまち	(節) 2 学ぼう、活かそう						
	個別計画			(基本計画) 生涯学習を推進する							
根拠法令・条例・要綱等						事業区分(該当する区分に「○」)					
図書館法						○ ソフト事業		施設の維持管理			
多可町図書館条例						義務的事業		内部管理事務			
事務事業の具体的内容						建設・整備事業		計画などの策定			
図書、記録及びその他資料を収集し、図書館及び加美・八千代公民館分室において、利用者へ閲覧・貸出を行うとともに、研究・調査の支援を行う。また、郷土資料・行政資料等の永年保存に努める。						補助金の支給		○ 有 無			
						委託		全部委託		○ 一部委託	
						委託なし(全部直営)					

2 事務事業の目的 <Plan②>		
対象 (働きかける相手・誰が・もの)	受益者 (誰を・何を)	意図 (どういう状態にしたいのか)
住民	住民	図書等を利用者に提供することにより、生涯学習を推進し、豊かな生活を支援する

3 事務事業にかかる予算細目 <Plan③>				会計名		一般		会計	
細目名		図書館運営事業		細目名				細目名	
予算 コード	款	項	目	大事業	予算 コード	款	項	目	大事業
	10	5	3	1					

4 事務事業実施にかかるコスト <Do①>						
事務事業・人員		単位	21年度 決算	22年度 実績(見込)	23年度 計画	備 考 (全体事業費など)
総 コ ス ト			52,636	50,478	57,157	
コスト の内訳	直接事業費	千円	18,195	17,905	24,584	
	所属内間接費		1,015	649	649	
	人件費		33,426	31,924	31,924	
	投入人員	正職員 嘱託員	人/年	4.25	4.40	
財源 内訳	国・県支出金	千円				23年度財源のうち 兵庫県市町村振興協会図書整備 支援事業交付金 918,000円 光をそそぐ交付金 5,000,000円
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		52,636	50,478	57,157	

5 事務事業の手段<Plan④>と活動指標 <Do②>							
事務事業を構成する業務		手段 (事務事業整理シートより)	活動指標 (手段の数値化)	単位	21年度 実績	22年度 見込	23年度 目標
1	図書の貸出・返却	講座・イベントの開催や広報・図書館だより・たかTVなどによるPRにより、利用者の増加を図る。 また、来館者への適切な資料提供等により満足していただくよう努め、リピーターを増やす。	貸出冊数	冊	165,657	171,755	182,500
2	情報提供(レファレンス)						
3	図書の充実		購入金額	千円	10,000	10,000	15,000
4	講座・イベント		開催回数	回	39	40	40
5							

(ソフト事業) (B面)

6 事務事業の実績 <Do③>		事務事業名 [図書館運営事業]			備考 (成果指標の考え方・計算方法)
成果指標(意図の数値化)	単位	21年度 実績	22年度 実績(見込)	23 年度 目標	
貸出冊数	冊	171,755	177,124	182,500	
町民登録率	%	26.8	29.2	31.4	

7 事務事業の事後評価 <Check>				(ソフト事業)					
チェック項目				該当項目に「○」				担当の把握している課題	
必要性	需要への 対応性	住民ニーズは	○ 高い		高くない		把握なし	図書館は利用するほど 便利な施設であるが、未利用者には理 解されにくいいため、利 用を掘り起こす必要 がある。	
		緊急性は	高い	○ 高くない					
		利用者・対象者数は	増加		減少	○ 横ばい			
		他市町と比較して対象者に見直しの余地は	○ ない		ある	把握なし			
	町の関与 の必要性	民間の事業(サービス)との競合は	○ ない		ある				
国や県の事業(サービス)との重複は		ない	○ ある						
妥当性	サービス 水準の 妥当性	事業開始時から社会環境の変化は	ない	○ ある			有効利用のためには、児童館や学校な どの蔵書も含め一元 管理が望ましいが、シ ステムの拡張がむず かしい。		
		環境変化によるサービス水準の見直しの余地は	○ ない		ある				
		他市町と比較してサービス水準の見直しの余地は	ない		ある	○ 把握なし			
	連携の 可能性	他課で類似の事業は	ない	○ ある					
		他の事業と統合できる可能性は	ない		ある	○ あるが困難			
		民間や他の行政機関と連携できる可能性は	○ ない		ある	あるが困難			
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	○ ない		ある		サービスの向上には 検討の余地がある。		
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	○ ない		ある				
		サービス向上の観点から実施方法を見直す余地は	ない	○ ある					
		受益者負担を見直す余地は	○ ない		ある				
有効性	目標の 達成度	成果指標が明らかで	○ ある		ない		図書館は知る権利を 保障する施設でもあ るので、行政が支える べきものである。		
		前年より成果が上がって		いる		いない		○ 横ばい	
	持続の 可能性	継続することによる効果は	○ 高い		高くない				
		世代間負担の公平性、社会的平等性が保たれて	○ いる		いない			測定困難	
		事業の休・廃止による住民への影響は	○ 大きい		大きくない				
市場化の 可能性	既に全部委託済		更なる委託化が可能である		委託化の余地があり		○ 委託化は不可能		
	市場化テストの導入について検討する余地がある			○ 市場化テストの導入を検討する余地はない					
改善の可能性		1.改善の余地はない			○ 2.改善の余地がややある				
		3.改善の余地が多い			4.抜本的な見直しが必要				

事務事業評価書

8 改善提案と今後の改善の方向性 <Action>

職場からの意見(担当者)									
(課題の解決についての提案など)									
多可町としての人口分布、生活動線などを考慮した上で、サービス拠点の場所や規模を再考した図書館サービス計画の策定が必要である。									
担当課長評価									
(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか)									
「暮らしに役立つ図書館」として、かみプラザ図書室、やちよプラザ図書室の利用促進を図るために蔵書を増やし、図書館と併せてサービスの充実と情報発信を図りたい。									
所管評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	○	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討	
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了	内部評価		3
教育長評価									
(教育長としてこの事業をどのようにしていきたいか)									
町民にとって使いやすい図書館となるよう、内容の充実、サービスの向上に努めていく。									
事業評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	○	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討	
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了			
評価委員コメント									
更なる拡充・充実を図らいたい。									